

県境の城跡を訪ねて（阿尾城址，湯山城址，荒山城址）

今年度の研修旅行が10月14日に行われました。9時に矢田郷公民館前を出発したのは会員30名あまりです。まずは会長挨拶に続き本日の観察ポイントについての説明がありました。百海に出ると富山湾を隔てて立山連峰が浮き上がって見えました。

阿尾に入ってコンビニで昼食準備とトイレ休憩。そして、細い路地に曲がってすぐ、10時前に阿尾城址駐車場に到着しました。ここは海に突き出た所で「能登半島国定公園」指定の記念切手にもなった場所です。坂道を登ると小高い尾根に城址が続いていました。突端の本丸跡には展望台も造られ、氷見の街を眼下に富山湾が光り輝いていました。振り返れば氷見ゴルフ場、そして石動山が望めます。塚林さんから縄張り図を見ながら説明を受けました。調査結果からもはっきりしなかったようで『伝・・・』と説明書きがされていました。榊葉乎布神社前で記念撮影をしました。

11時前には湯山城下の西念寺を訪れました。もとは鹿島郡井田村にあつて石川県とも大きなつながりのあるお寺で同時に、武井会長とも顔なじみの住職から森寺城や七尾城主畠山氏との関わりについてもお話していただきました。そして、ここで昼食となりました。ほとんどの人が暖かな境内でそれぞれのお弁当を開きました。私は境内に実をつけた棗をいただきました。

12時半に地元の方がおいでになり湯山城を案内いただきました。湯山城は一本の尾根上にいくつかの郭が点在しています。道に沿いながら城跡の説明をいただきました。二の丸はサッカー場のように広く、そこに本丸跡の石垣が残っていました。その広大さに驚きの声が上がりましたが、そこを交代で草刈りなどの整備に取り組んでいるとのこととで地元の力を感しました。保存会の力だけではなかなか難しい整備ではありますが、私たちにも何らかの方向性を与えていただきました。

約1時間遅れとなりましたが、最期に荒山城跡（枡形山）の階段多い山道を上りました。息を切らして頂上からの眺めはみごとでした。

それぞれが満足した楽しい研修でした。

本日の行事は雨天中止になりました。

後日、是非一緒に歩きましょう！

